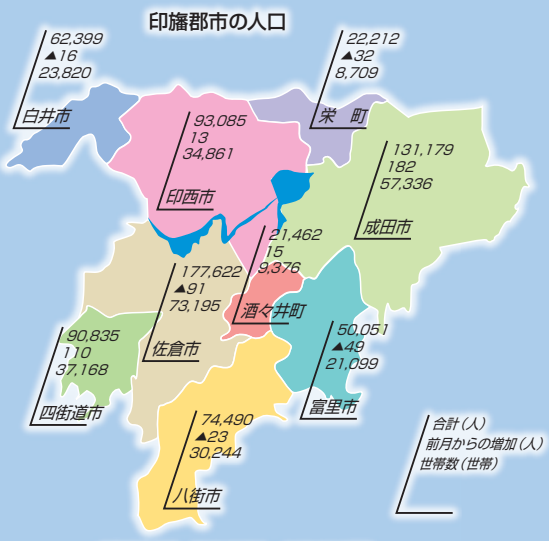
「印旛郡市広域市町村圏事務組合」広報紙

広報 いんば広域

2013年 夏号
No.100



印旛郡市合計　723,335人　295,808世帯
（住民基本台帳調・平成25年5月末日現在）
毎月の人口は、ホームページに掲載しています。
※平成24年7月9日の改正住民基本台帳法の施行に伴い、
平成24年7月末日以降の人口には外国人を含みます。

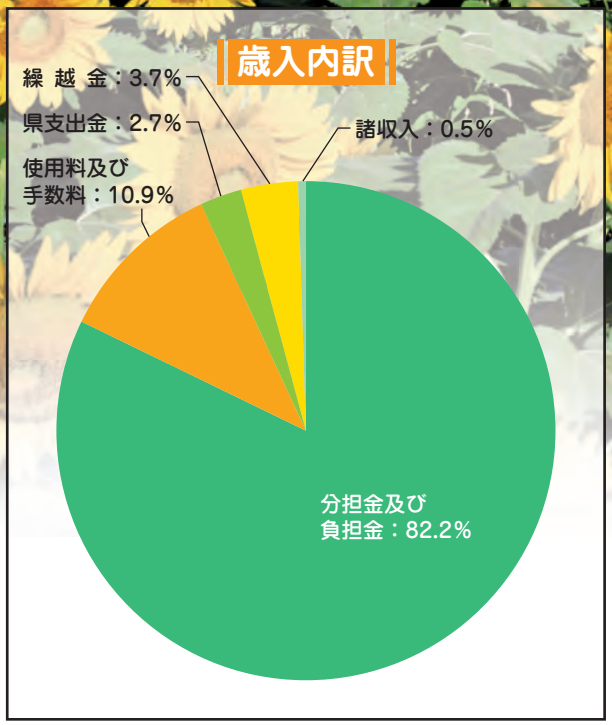
平成25年度一般会計予算

印旛郡市広域市町村圏事務組合は、印旛郡市７市２町（成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町）を構成団体として、印旛郡市職員の採用試験・研修、軽費老人ホームよしきりの管理運営、第二次救急医療機関運営事業などの事務を共同で処理しています。

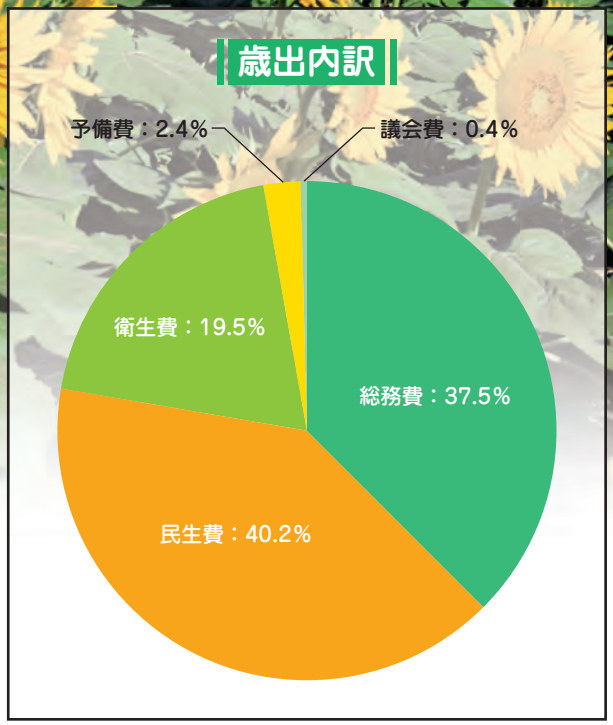
印旛郡市広域市町村圏事務組合の平成25年度の一般会計予算をお知らせします。

当組合事業は構成団体の負担金により運営されていることから、既存の事業の見直しを積極的に行い、効率的な組合運営を検討し、経費削減と抑制に努め編成した結果、本年度の一般会計予算は、24年度に比べて1.4%増の、総額２億8,807万７千円となりました。

歳入内訳



歳出内訳



歳入の状況

歳入では、構成市町からの負担金が減となり、千葉県からの補助金が30%削減されますが、平成24年度からの繰越金が増額となりますので、全体で増額となっております。

歳出の状況

歳出のうち、総務費では、それぞれの事業内容を精査し、実績を踏まえた経費の積算及び再任用職員の活用による職員人件費の見直しにより減額となっています。民生費では、軽費老人ホームよしきりの入所者の日常生活に係る施設運営経費の見直し及び臨時的な施設改修費の計上により増額が見込まれます。また、予備費においては、職員採用試験の応募者の急増への対応、軽費老人ホームよしきりの緊急的な修繕等に備えるため増額となっております。

今年度事業

平成25年度の事業は、上記の職員採用共同試験、職員共同研修のほかに、その他事業として、広報紙「いんば広域」の発行、軽費老人ホームよしきりの運営、第二次救急医療機関運営事業等を計画しています。

問い合わせ

印旛郡市広域市町村圏事務組合事務局
☎043-485-0397

歳入

区　分	構成比（%）	予算額（千円）	前年度比較（千円）	説　明
分担金及び負担金	82.2	236,871	▲ 1,610	構成市町からの負担金
使用料及び手数料	10.9	31,280	▲ 300	軽費老人ホームよしきりの入所者からの使用料
県支出金	2.7	7,888	▲ 3,387	小児救急医療支援事業への県からの補助金
繰越金	3.7	10,707	8,507	平成24年度からの繰越金
諸収入	0.5	1,331	712	軽費老人ホームよしきりの入所者からの電気料等
歳入合計	100.0	288,077	3,922	

歳出

区　分	構成比（%）	予算額（千円）	前年度比較（千円）	説　明
議会費	0.4	1,010	▲ 7	組合執行部および組合議員の報酬や議会運営に係る費用
総務費	37.5	108,050	▲ 2,848	事務局職員の人件費（物件費等含む）や印旛郡市職員の共同研修・採用共同試験・広報紙の発行等広域事業に係る費用
民生費	40.2	115,947	1,920	軽費老人ホームよしきりの人件費（物件費等含む）や施設管理運営に係る費用
衛生費	19.5	56,070	▲ 143	第二次救急医療・小児救急医療に係る費用
予備費	2.4	7,000	5,000	緊急時に備える費用
歳出合計	100.0	288,077	3,922	

『印旛郡市の暮らしを支える広域水道』

平成25年度 水道用水供給事業会計予算

当組合の水道用水供給事業は、千葉県水道局の柏井浄水場や北総浄水場などの使用許可を得て、取水から浄水処理までの業務を第三者委託し、浄水処理された水を印旛郡市内の(※)７市１町１企業団へ送水しています。

平成25年度の年間総給水量は、1,962万350㎥を予定しており、昨年度と比較すると、約20万㎥の減量になっています。

今年度もより効率的な事業の実施に努め、安全で良質な水道水を安定してお届けします。

平成25年度の水道事業会計予算をお知らせします。

（※）**成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、長門川水道企業団（印西市の一部、栄町）**

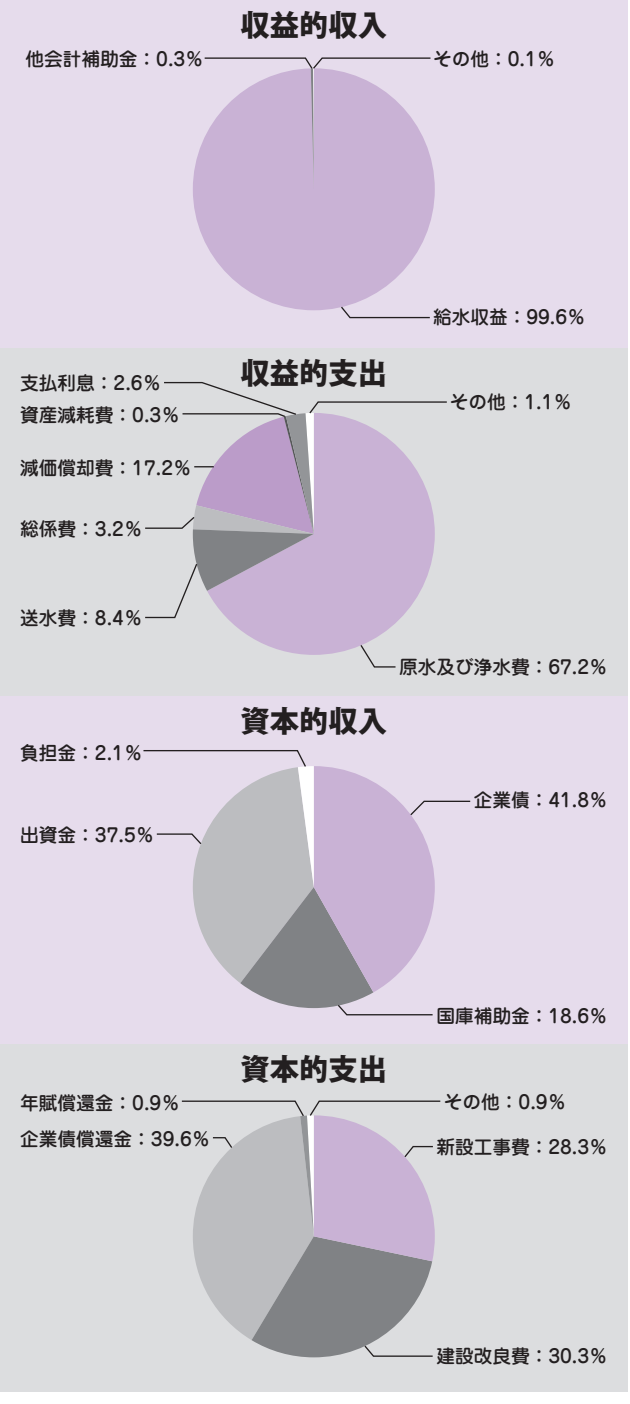
●収益的収支（水をつくり各市町等に送り届けるための会計）

区　分	予算額(千円)	説　明
収益的収入	3,681,558	各市町等からの給水料金等です。
給水収益	3,668,752	
他会計補助金	11,482	
その他	1,324	
収益的支出	3,326,209	浄水するための費用のほか、送水に要する費用及び事業活動全般に関連する費用（人件費含む）や資産の減価償却費等です。
原水及び浄水費	2,235,688	
送水費	281,094	
総係費	105,258	
減価償却費	571,222	
資産減耗費	8,695	
支払利息	87,748	
その他	36,504	

●資本的収支（施設などを造るための会計）

区　分	予算額(千円)	説　明
資本的収入	424,565	水源（ダム等）の確保や施設を整備する費用の財源です。
企業債	177,400	
国庫補助金	78,892	
出資金	159,273	
負担金	9,000	
資本的支出	1,383,508	水源（ダム等）の確保や送水するための施設整備に要する更新工事費、人件費及び物件費等です。
新設工事費	391,988	
建設改良費	419,679	
企業債償還金	548,031	
年賦償還金	11,943	
その他	11,867	

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額については、（現金支出を伴わない）減価償却費などの内部留保資金で補う予定です。



水のお話

印旛郡市広域市町村圏事務組合では、利根川などから取水した原水を水道水にして、印旛地区の７市１町１企業団の９団体へ供給しています。

なお、一般家庭への給水は、各市町等が行っています。

８月１日は水の日

毎年８月１日は「水の日」です。水の日からの一週間は「水の週間」です。

水資源の有限性、水の貴重さと水資源開発の重要性について関心を高め、理解を深めるために私たちの身の回りの「水」をもう一度見直してください。

節水にご協力を

これから夏を迎え、水の需要が増える季節となりますが、水道水のほとんどが雨にたよっています。

水は、限りある貴重な資源です。

また、河川などから取り入れた水は、浄水場できれいにし、ポンプ等により圧力をかけて皆さんの家にお届けしていますが、この過程で多くの電力を使っています。

各家庭での節水の小さな積み重ねが大きな節電効果にもつながります。

水の大切さを考え、水資源の有効利用のため、引き続き節水へのご協力をお願いします。

災害時に備えて

飲料水は「一日一人３リットル」が必要です。

地震などの災害で断水した場合、緊急給水までに時間がかかることがあります。皆さんの家庭でも水の備蓄をして緊急時に備えましょう。

当組合は、災害時においても安全で皆さんが安心して使える水を供給できるよう一層災害対策を強化し推進してまいります。

水道週間

毎年６月１日から７日は「水道週間」です。

今年度も、皆さんに水道について理解と関心を高めていただき、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るために啓発を行いました。

▲JR木下駅（印西市）

◀白井市役所ロビー

第55回「水道週間」のスローガンは

復興の　未来と生命（いのち）　照らす水

問い合わせ

印旛郡市広域市町村圏事務組合水道企業部

☎043-486-5111